

オリンピック・パラリンピックは教育の場

—あと4年かけ、最大の準備を—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに自分のやりたいスポーツを決め

- (1) 競技に参加する
- (2) ボランティアとして大会の運営に協力参加する
- (3) 観客として声援・応援する

- ・ 審判員
- ・ 会場整備
- ・ 大会運営
- ・ ボランティア通訳

2. そのためには

- (1) 1つ1つのスポーツについて理解を深める
 - ① 各々のスポーツの歴史を知る
 - ② ルールを知る
 - ③ 練習方法を身に着ける
 - ④ 学校や地元のチーム、スポーツクラブなどで、そのスポーツの練習に参加する
- (2) 応援・支援する参加の各国について知る
 - ① 国や地域をいくつか決める
 - ② 国や地域の地理、歴史、言語、宗教、文化、伝統、習慣を知る、勉強する
 - ③ 経済状況や人々の暮らし向きを知る
 - ④ 参加するアスリート・大会関係者がどのような背景をもって2020年に臨むのかを知る
 - ⑤ 日本との関係を知る政治的、文化的、経済的關係
- (3) その上で、視野を世界に広げ、自分に何ができるのかを自分で考える

3. (1) オリンピック・パラリンピックの年には、競技種目以外のスポーツの振興がはかられる

- (2) 是非、積極的な行動を
- (3) 開倫塾ではドッジボールを支援したい
- (4) 開倫ユネスコ協会では、2020年にドッジボールの世界大会を開催したい

4. 最後に一言

- (1) 日本や栃木県、自分の住む市や町について、その地理、歴史、文化、経済などの勉強をもう一度し直し、外国に発信。日本を訪れた人々に自分の言葉で説明できるまでにしたい
- (2) オリンピック・パラリンピックは私たちにとって大切な教育の場、自己学習の場
- (3) 主体的に取り組みましょう

— 2016年8月23日(火)午前9:00から収録する内容です—